

### ふれあいセンター「かがやき」改修工事

- 問 地域包括支援センターの移転先の「かがやき」を改修工事する。「かがやき」は本来介護予防の建物だ。社会福祉協議会は地域福祉の事務所としての建物が必要だ。目的が違うものが混ざる状況がどうか。
- 答 社会福祉協議会事務所は、現在、ふれあいセンター「かがやき」に2年、その前は農協の松伏支店をお借りしていた。事務所の位置については、町が責任を持つ気持ちが必要だ。1階ロビーの一部にローカウンターを設置し、隣接する倉庫の改修と電話配線、インターネットの無線LAN、照明のLED化、看板設置工事を予定している。

### 老人福祉センターに介護予防の機器が新設

- 問 使い方や運動訓練の指導ができる職員がいないと効果があまりないと考えるがどうか。
- 答 これは体を鍛えるというのではなく、ゲームセンターに設置してあるゲーム機というイメージで高齢者向きのものだ。



改修工事を予定しているふれあいセンター「かがやき」

どう使う  
貴重な財源  
(平成25年度  
予算審議)



改修工事を待つ 松伏中学校体育館



改修工事予定の金杉小学校遊具

### 財源の創意工夫

- 問 創意工夫による自主財源の確保は。
- 答 日本スポーツセンターの助成金を活用して、松伏記念公園のテニスコートの改修をする。あわせて照明のLED化を実施する。自主財源の確保は、徴収対策またはコンビニ納付等の手法を活用した。

### 事業の検証

- 問 予算編成に当たり事業の効果を評価検証したか。
- 答 必要性、効果性、緊急性、安全性、地域からの要望等、総合的に検証した。

### 松伏町中学校の改修工事

- 問 体育館の耐震補強及び大規模改修工事を年度内実施とあるが。
- 答 関係機関と調整しているが結論に至っていない。

### 国からの交付税など

- 問 地方交付税並びに臨時財政対策債は、なぜ前年同様なのか。
- 答 政権交代もあり地方財政対策の全容が示されていない。情報収集する中で勘案した。

### 賛成討論

#### 山崎善弘（新自民クラブ）

文化振興運営事業費補助金600万円、中央公民館設備等改修工事費7000万円を計上し、音響設備を改修することは高く評価する。イメージキャラクター商標登録、ゆるキャライベント等参加は経済効果を秘め、音楽のまちづくりと合わせて観光資源となる。また、敬老祝金の増額、地域包括支援センターの移設、湯沢町との災害協定、防災無線のデジタル化などを高く評価する。

#### 鈴木勝（町民クラブ）

実績を踏まえた積極的な予算である。がん検診率の目標値のマップ等、20の新規事業がある。またウォーキングマップの作成とものづくりガイドを作成し観資源、産業のPRを図る。暮らしてよかった町から暮らし続けたい町、暮らしてみたい町へ発展することを期待する。

#### 川上力（公明党）

選択と集中を心がけ、一歩前進の予算である。自治会等振興補助金拡充や共助、協働の心を育むボランティア活動の支援に地域活動補償保険料を予算化したことは評価する。老人福祉センターの土日開所や旧金小体育館解体工事など、北部地域の利便性の向上につながる。こども医療費無料化の年間通しての予算は高く評価する。

### 反対討論

#### 吉田俊一（日本共産党）

大幅に予算規模や事業規模が後退している。国が進めている政策に大きな矛盾があるからだ。こども医療費助成制度は、滞納があれば助成しないのは問題だ。敬老祝金77才は手をつけていない。ゴミ処理や斎場などの広域行政にかかわる分担金は、現在の計算方法を見直すべきだ。

#### 鈴木勉（新政クラブ）

町の特性を生かしたまちづくりが感じられない。克服すべき課題や政策ビジョンも見えず、熱意も伝わって来ない。町役場の正規職員は40人減員されたままで必要最低人員以下であり、体制強化は不可決である。地域包括支援センターは、町直営ですべきだ。消費生活センター相談員とは労働契約を結ぶべきだ。

### 採決の結果

#### 賛成 11名

山崎善弘・荘子敏一・松岡高志（新自民クラブ）  
高橋昭男・佐藤永子・福井和義（新政クラブ）  
鈴木 勝・堀越利雄・長谷川真也（町民クラブ）  
佐々木ひろ子・川上 力（公明党）

#### 反対 3名

吉田俊一・広沢文隆（日本共産党）  
鈴木 勉（新政クラブ）

### 地域コミュニティの活性化

- 問 自治会だけではなく、町民が同じ目的で活動することも地域コミュニティと考える。予算の波及効果はどうか。
- 答 一昨年の東日本大震災以後、地域社会の絆の重要性が認識され、強く求められている。自治会活動の活性化はまちづくりの基礎なので自治会の補助金と維持管理費補助金を拡充した。その他、NPOへの委託、各種団体への助成等の予算も計上した。

### 「シニア青春時代のまち」

- 問 健康的で明るい老後をイメージさせる。医療、介護、健康づくりの各課の予算はどうか。
- 答 「健康まつぶし21」の計画に基づいた健康づくりを推進している。

### 学力向上の教育環境

- 問 充実をさせる内容と目標を示せ。
- 答 非常勤の教育支援員を配置するほか、小中学校の児童、生徒に学力テストを継続し基礎的な習得度や思考力を把握して学力向上を目指す。

### 防災の施策

- 問 どんな内容か。
- 答 メール配信、ツイッター等のシステムを継続し、防災情報発信の強化に努める。また、耐震補強補助金を交付する。防災行政無線は4年かけてデジタル化に更新し、難聴地域の解消に努める。